



阿賀町立三川小学校学校だより

みかわっ子

平成31年 2 月 28 日



世界について初めて知ったことがいっぱい↑



南極の氷に光を当てるとどう見えるかな↓

ふるさとを愛する心

校長 栗林 操

「将来どこに住むか分からないけど、内からも外からも阿賀町を支える人になりたい。」

これはこの3月に三川中学校を卒業する3年生の一人が、小学6年生の時の総合学習「阿賀町の未来そして自分の未来を考える」のまとめに書いた言葉です。4年前、この言葉に私の心の中で希望の火が灯りました。「ふるさとを愛する心を育て、将来の阿賀町を支える礎を築きたい」…そう願って地域の人との関わりを重視した“地域教育プログラム”を確立しました。三川小学校ではすべての学年において、生活科や総合学習を中心にこの取組が行われています。ここに今年度、新たな視点を2つ加えました。1つめは、教科と総合を関連させて地域社会への関心を高める取組です。例えば、3年生では社会科の“受け継がれる行事”と総合学習“三川の宝”を関連させて、熊渡にある正鬼様の学習を行っています。そしてもう一つは、広い世界を知ってふるさとを見つめる取組です。広い世界を知ることは、地域への愛着を深めることと逆行するように思うかもしれませんが、子どもたちが地域のよさを実感してそれをどう生かすかを考えるためには、外からふるさとを見つめることが欠かせないと考えます。先日、「世界を知ろう」の学習として、東京出身で阿賀町で地域おこし協力隊として活躍している堀口一彦様から、青年海外協力隊で訪れたガラパゴスについてのお話を、そして未知の世界である南極で観測隊員をされた岡本裕司様から、南極での生活や仕事について体験を語っていただきました。また、当校と同じように地域学習に一生懸命取り組んでいる新潟市立新潟小学校の地域をテーマにした全校ミュージカルを、5年生が見学に行きました。子どもたちは広い世界を知って、これまで気付かなかった視点で阿賀町や自分たちの生活を見つめようとしています。

子どもたちのふるさとへの思いを紡いだ「希望の未来に向かって」学習発表会が、明日行われます。地域みんなでふるさとを感じ、考える場になることを願っています。

広い世界を知ってふるさとを見つめよう！ そして様々な人たちの生き方を学ぼう！

前ページで紹介した堀口様のお話には3年生以上が、また南極学習には5・6年生が参加しました。その地域の様子に加えてそこで生きる人たちの生活や、お話をしてくださった講師の方の生き方についても学ぶことができました。



ガラパゴス諸島は、火山のふん火によってできた島であることを知っておどろいた。私が住んでいる阿賀町は、どうやってできたのか知りたい。（4年）



阿賀町は人口が少ないので、堀口さんが話していたようにイベントや行事をいっぱいやって、阿賀町のよさを知ってほしい。（4年）

私たちが住んでいる日本はとても広い国だと思っていた。今回世界のことを学んだことで、何だか自分が変わったような気がする。世界にはいろいろな人たちがいる。その人たちと言葉は通じなくても仲良くしたい。もっと世界のことを知りたい。（5年）

ガラパゴスと南極では気温が全く違い、生き物の種類も違っているが、どちらも自然豊かでたくさんの生き物と触れ合える場所だ。その点では阿賀町とよく似ていると思った。自然や生き物についてPRして、多くの人に阿賀町に来てほしい。（6年）

どちらの話も「興味をもつ」ことの大切さを教えてくれた。外国へ行くのも南極へ行くのも、まずは「興味をもつ」ことから始まると思う。だからぼくも、どんなことにも興味をもっていきたい。そして、一度始めたことはすぐにあきらめないこと、勇気をもつことを大切にしていきたい。（6年）

自分の中のイメージや印象だけでなく、詳しく調べたり自分からやってみたりしないと、気付けないことや分からないことがあることを知った。また、調べるだけでなく自分で実際にためしてみる大切だと思った。これまでの考え方や行動のしかたを見直していきたい。（6年）

新潟市立新潟小学校の全校ミュージカルから学んだこと

新潟小学校は全校約600人の大規模校です。古町の空洞化という大きな課題に、学校が主体となって地域学習に取り組んでいます。「古町の過去・現在・未来」と題した各学年による全校ミュージカルを見学させてもらい、三川小の5年生は新たな視点をもつことができました。



県民会館の大ホールという大勢のお客さんの前で、歌も言葉も大きな声が出ていて迫力があつた。ぼくは緊張すると声が小さくなってしまうので、こんなふうにがんばりたいと思う。また、体いっぱい大きな動きで演技をしていた。大きな動きのおかげで、伝えたいことがとてもよく分かった。3月1日の発表会にこのことを生かしていきたい。(5年)

自分たちの地域である古町の自然や、自分たちで見つけたいいところを歌や劇で楽しそうに表現していてすごいなと思った。私たちも3月1日に森林についての劇を発表する。今日見たミュージカルのように、恥ずかしがらず大きな声を出していきたい。そうすることで、たくさんの人に気持ちを伝えることができるんだと思う。(5年)

県民会館に来ていた多くの人や白山公園を歩いている人たちに、三川小の5年生も自分から大きな声であいさつができました。「どこから来たの?」と声をかけられ、笑顔で答えている姿も印象的でした。住む地域は違っても、ふるさとのためにがんばりたいという同じ思いをもつ子どもたちとの交流から、多くの刺激をもらいました。

想像力をはたらかせよう

4年生が国語の学習で、野原の生き物になりきって、考えたことや感じたことを詩に書きました。

いじめや虐待が大きな社会問題になっています。その未然防止策として想像力の育成が挙げられます。この学習のように、立場を変えて物事を考えるというのはとても大切なことです。相手の気持ちを想像できる、こんなことをしたらどうなるか想像できる、日々の生活の中で考えさせていきたいと思います。そして、この作品のような子どもたちの感性を大切にしていきます。

いいね！みかわっ子のマナー

1年間子どもたちの登校風景を見ていて、感心することがあります。それは雪や雨の日のかさの使い方です。右の写真のように、どの子どももかさを広げて雪を落としたり、雨の滴をはらったりしてから玄関に入っています。教師から言われなくても、子どもたちが自分からそうしているのです。雪国のふるまいであり、ずっとこの地域で大切にされてきた思いやりを、三川小の子どもたちはしっかり引き継いでいます。



たくさんの参加、ありがとうございます。

今年度のスキー授業には延べ12人の保護者の皆様からボランティアの御協力をいただきました。皆様から助けていただいたおかげで、1年生も全員がリフトに乗って上から滑ってすることができました。また、今年度の新たな取組として行った校内なわとび大会や発表朝会の参観にも、多くの方から来校していただきました。子どもたちや学校の様子を気軽に見ていただきたい、そう願って始めた取組です。これからも、どなたでも都合のつくときに学校に足を運んで、一緒に子どもたちと関わっていただけたらうれしいです。



【1年生2回目のスキー授業】

これからの主な行事予定

- 3月 **1日（金） 学習参観13:45～（4年生は13:25～）**
「希望の未来に向かって」学習発表会 14:35～ 学校評議員会15:45
*学習参観、発表会ともにどなたでも参観できます。
- 4日（月） Web配信問題（国語） 地域児童会10:30
5日（火） Web配信問題（算数） 三川中学校卒業生の見送り
6日（水） 卒業式練習 なかよし班遊び
学年会計監査18:30（PTA学年委員長） PTA新旧理事会19:00
7日（木） 委員会活動（4～6年生）
8日（金） 委員会引き継ぎ式
- 14日（木） 卒業式練習 4～6年生6限授業
15日（金） 全校5限授業 下校14:55
18日（月） 卒業式練習 給食後下校13:15
19日（火） 給食最終日 下校13:15
20日（水） 3学期終業式 下校11:05（1～3・6年生）12:30（4・5年生）
22日（金） 第52回卒業証書授与式 下校11:25
25日（月） 離任式（通常通り登校 下校10:00）学年末休業（～4月4日）

